

田んぼアート会場で稲作体験

・愛知県／名古屋市港区
・開催時期：5月～12月

葉の色の異なる古代米等を使って田んぼに絵を描く田んぼアートの制作を通して、農家と市民が一緒になって楽しく稲作体験！

体験学習等のイベント内容

・都市化による農地の減少や農家の高齢化・後継者不足が進む中、名古屋市内有数の米どころ名古屋市港区の水田において、市民と農家が協働で農を支える活動を推進し地域の水田を保全し、水田の多面的機能を維持しています。

・体験内容は、葉の色の異なる古代米等を使って田んぼに絵を描く田んぼアート制作を通して、①田植え、②観察会、③稲刈りの各作業を主に手作業で農家の方が指導される方法で共同で行い、④収穫祭では参加者には収穫したお米やお酒が配られます。

・この活動は名古屋市在住・在勤の方を100口（1口当たり5名まで）募集しており、農家と市民が一緒になって名古屋の稲作に触れ、生き物と触れ合い、楽しみながら農についての学びを深めています。



田植えの様子 (R3.5.9)



田植えで人気の田舟乗り (R3.5.9)



稲刈りの様子 (R3.10.10)



稲刈後のコスモス狩り (R3.10.10)

取組主体の紹介

取組主体である「茶屋新田（ちゃやしんでん）田んぼアート実行委員会」（構成員：愛知県、名古屋市、茶屋新田地域資源保全隊※）は、港区南陽地区で、水田との関わりの中で市民と農家が協働で農を支える仕組みを作ることとを目的として、田植え、稲刈り等の体験水田の取組みを実施しています。

平成23年からは名古屋市初となる「田んぼアート」を制作し、多くの人々に取組みを発信しています。

※地域の農地・農業用水等の資源を保全・管理し、農村環境の保全向上の活動を行う地元農家主体に結成された組織です。

イベントに参加するには

名古屋市在住・在勤の方で全4回の日程に連続して参加できる方を対象に、毎年4月1日～4月20日に募集（有料）しています。（下記URL参照）

- ・取組主体：茶屋新田田んぼアート実行委員会
- ・問合せ先（TEL等）：名古屋市緑政土木局 都市農業課
TEL 052-972-4071

・参考URL：
<<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-2-7-7-0-0-0-0-0.html>>

写真提供：名古屋市緑政土木局都市農業課



見頃を迎えた田んぼアート南陽 (R3.7.4 観察会)
「令和3年度：千手観音」

（デザイン：愛知県出身にわぜんきゅう氏）

東海農政局の

←当該ウェブサイトはこちら



水田魚道を活かした環境教育

・愛知県／安城市
・開催時期：6月～9月

水田魚道を設置した水田で子供たちと共に生き物観察を定期的
に実施！

体験学習等のイベント内容

・水田魚道設置及び農家の環境保全型農業の実践の協力により多種多様な魚類が遡上等できるようになった水田を活用し、地元の子供たちが生き物観察を行うことにより、農業や環境の大切さについての理解を醸成しています。

・観察会は、榎前（えのきまえ）地区の子供会を中心に、魚道を通り水田と水路を行き来するドジョウ、フナ類等の生き物をタモ網等で採捕、生き物の種類や大きさ等を記録しもとの水田や水路に戻します。結果は町内会で回覧するなどの広報活動も行っています。

・この活動に町内の子供たちが年間延べ約300名参加、非農家である子供たちの父兄の関心も高く、地区内住民の交流を深めています。



↑観察水田で採捕された魚類の観察

↓採捕されたドジョウの計測



水田魚道観察会の様子（H31）

取組主体の紹介

取組主体である「榎前環境保全会」は、榎前地区の農業者のほか地区内全ての関係団体で構成する多面的機能支払交付金の事業推進母体です。

平成18年に愛知県農業試験場の開発した水田魚道を設置したことを契機に、地元の子供が参加して水田魚道を遡上する魚類等を観察する水田魚道観察会や田植え、稲刈り等の稲作農業体験を定期的の実施しています。

イベントに参加するには

榎前環境保全会に問い合わせただけ
れば、地域の子供たちを対象に夏季に定
期的（週2回程度）に実施している水田
魚道生物観察会に参加（見学）可能です。
（下記問合せ先参照）

- ・取組主体等：榎前環境保全会、榎前町内会、子供会
- ・問合せ先（TEL/FAX）：0566-92-0071 榎前環境保全会



↑水田魚道 ドジョウ等が水田と水路とを行き来

右上写真：遡上調査のため水田側に設置した
定置網

東海農政局の
←当該ウェブサイトはこちら



千枚田オーナーになり農業体験

・三重県／熊野市
・開催時期：4月～2月

年間を通じた農業体験等への参加を通じて、日本一とも言われる丸山千枚田の景観の保全、棚田の多面的機能維持に貢献！

体験学習等のイベント内容

・日本一とも言われる丸山千枚田の景観と400年以上続く貴重な農耕文化を守り、後世に残すことに賛同いただけるオーナーが、農業体験等を通じて、千枚田の景観保全、棚田の多面的機能の維持に貢献しています。

・千枚田オーナーが体験できる農業体験及びイベントは、春先作業から順に、①畔（あぜ）塗り作業、②田植えの集い、③虫おくり（伝統行事）、④案山子（かかし）作り教室、⑤稲刈りの集い、⑥収穫祭、⑦畔（あぜ）そり作業、と盛り沢山で、地域住民組織（丸山千枚田保存会）から手ほどきを受けながら体験、参加者には特典として、新米と地域の特産品等が配布されます。

・この活動は毎年2月から募集、①～⑦の体験を4月～2月まで行います。毎年100組を超える申込みがあり、農作業を通じて地域住民との交流を深めています。

豊作を願う地域の伝統行事
虫おくり（6月第1土曜）→
幻想的な情景の中、千枚田
オーナーも行列に参加



千枚田オーナー 田植えの集い
(5月中旬)



東海農政局の
←当該ウェブサイトはこちら



←千枚田オーナー
稲刈りの集い（9月上旬）
↓



取組主体の紹介

取組主体である「（一財）熊野市ふるさと振興公社」は、丸山千枚田を保全するため、「千枚田を舞台に都市住民との交流を図り、一緒になって千枚田を守っていこうという」趣旨のもと、千枚田の一部を利用して千枚田オーナー制度の運営を行っている組織です。

丸山千枚田7.2haのうちの約1.6haをオーナー用として活用しており、オーナーさんは、昔ながらの手作業による田植えや稲刈りのほか、地域のイベント等にもご参加いただいています。

イベントに参加するには

丸山千枚田を愛し保全活動に理解のある方で、地域住民をはじめとした地域の人々とのふれあいを大切にできる方を対象に、オーナーを募集（有料）しています。（下記URL参照）

- ・取組主体：（一財）熊野市ふるさと振興公社
- ・問合せ先（TEL等）：（一財）熊野市ふるさと振興公社
丸山千枚田担当 TEL 0597-97-0640
- ・参考URL：<https://www.maruyamasenmaida.jp>

写真提供：（一財）熊野市ふるさと振興公社

大学生と連携した農業体験

・三重県／津市
・開催時期：5月～9月

大学生と連携し、休耕田を活用した学生田での田植え、稲刈りなどの農業体験を通じて農業・農村の果たしている役割を学ぶ！

体験学習等のイベント内容

・上ノ村（かみのむら）地区からの呼びかけに応じた地域づくりに興味を持つ三重大学の学生が、米づくりや地区行事への参加を通じて、地域の課題に向き合いつつ農業・農村が果たしている役割を学んでいます。

・体験内容（令和4年）は、地区内の休耕田を活用し、田植え、稲刈り、収穫祭などの農業体験を三重大学の学生とともにを行います。また、お寺の境内において、昔ながらの盆踊りに沖縄のエイサーを新たに取り入れた「上ノ村成願寺（じょうがんじ）盆踊り」（8月下旬）への参加も可能です。

・この活動に参加することにより、取組主体の理念である「田んぼを田んぼとして守る」活動に貢献することができ、参加者と学生そして地区内住民との結びつきが強まります。



↑コロナ前の収穫祭の様子（例年10月）



コロナ前の学生田での学生による稲刈りの様子（例年9月）

取組主体の紹介

取組主体である上ノ村環境保全プロジェクト（以下「KKP」という。）は、上ノ村地区の全世帯と農地への入り作者で構成されるむらづくり推進組織です。

KKPは、「主体が多い地域は楽しい」という思いから、事業ごとに活動チームを作り、地域が一体となった活動を展開しており、三重大学の学生との縁結び事業では、休耕田での米作り、盆踊りの準備等多彩な活動により地区住民との交流を活発化させています。

イベントに参加するには

上ノ村情報局に問い合わせいただければ、学生たちの協力のもと、学生田での田植え、稲刈り、収穫祭等の農業体験や上ノ村成願寺盆踊り等への参加が可能です。（下記問合せ先参照）

- ・取組主体等：上ノ村環境保全プロジェクト
- ・問合せ先：上ノ村情報局HP 「お問い合わせ」フォーム
- ・参考URL：<https://kankooayji.wixsite.com/kaminomura>

コロナ前の
上ノ村成願寺盆踊りの様子→
（例年8月下旬の土曜日）



学生田での学生によるコロナ前の田植えの様子（例年5月）



東海農政局の
←当該ウェブサイトはこちら

写真提供：上ノ村環境保全プロジェクト

近江商人の精神「三方よし！」を手本とした農村生活体験

体験学習等のイベント内容

・滋賀県日野町は近江日野商人を輩出した町であり、近江商人の「売り手よし 買い手よし 世間よし」の「三方よし」の教えにならった田舎体験を提供します。

・体験内容は、農村生活体験（農泊）と家業おまかせプランとなります。家業体験の内容は、受入家庭が決定します。体験参加者がプログラムを選択することなく、実際に出会ってからの子どもたちの様子を見ながら臨機応変に対応します。

・これまでに受け入れた人数は、県外からの修学旅行生など24,000人を上回ります（リピーター率約70%）。



取組主体の紹介

「売り手よし 買い手よし 世間よし」の近江商人の精神を手本として、「売り手＝迎えるもの」には地域資源に対する自信と誇りの回復を、「買い手＝訪れる人々」にはほんものの体験を通じた心からの感動を、「世間＝地域」には人が輝く人的、経済的活性化をもたらす「三方よし！近江日野田舎体験」の実現に向けて、意のある仲間が集い、人と自然、農林商工業、生活文化等の地域資源をテーマにした地域の活性化に寄与することを目的として活動しています。

様々な農村体験（ホームステイ）



畑作業で食生産現場を知る



田んぼの補植作業



共同調理で食を学ぶ



イノシシと共に 命をいただく教育

イベントに参加するには

最寄りの旅行会社へお問合せ下さい。

・取組主体等：一般社団法人 近江日野交流ネットワーク

・問合せ先：（TEL）0748-52-6562

・参考URL：<https://www.omi-hino.jp/information/>

ゆりかご水田の 田植え・収穫体験

・滋賀県／野洲市
・開催時期： 5月～10月

「魚のゆりかご水田米」で地域と琵琶湖を元気に

体験学習等のイベント内容

・魚のゆりかご水田は、琵琶湖と田んぼとをつなぐ排水路に魚道を敷き、魚の生育環境を守り、生きものと人とが共生する命あふれる農村の再生を目指すプロジェクトです。

・田植え体験・田んぼの生き物観察・稲刈り体験など様々なイベントをとおして自然環境や食について学べます。

・多くの生きものを育み、生きものが育つ田んぼで お米づくりを体験することや地元農家の方々との交流によって人々の多様性が生まれます。



取組主体の紹介

「せせらぎの郷」では、体験型イベントの実施を基本とした都市住民との交流のほか、地域ブランド作りによる6次産業化にも取り組んでおり、地元酒造会社の協力のもと、「魚のゆりかご水田米」（コシヒカリ 100%）による純米吟醸酒「月夜のゆりかご」の製造・販売をしています。

イベントに参加するには

田植え、田んぼの生き物観察会、収穫イベントへの参加については、以下のHPで募集しています。

- ・取組主体等：せせらぎの郷
- ・問合せ先（TEL等）：090-9214-0055
- ・参考URL：<http://seseraginosato.net>

